



# 市議会報告

平成 20 年 1 0 月 No.2 2

市川市議会議員（無所属） **荒木 詩郎**

TEL/FAX 047-395-8171 [www.s-araki.net](http://www.s-araki.net)

荒木詩郎の

一般質問

9 月定例会が終了 2 0 議案を可決

市川市議会の 9 月定例会が 9 月 5 日から開催され、条例 1 1 件、補正予算 6 件など 2 0 議案が可決され、2 4 日に閉会しました。9 月議会では平成 1 9 年度決算の報告があり、1 0 月 2 7 日からの決算特別委員会で審議されることになっています。

## 議会の決算審査・予算編成に反映させよ

市川市の予算編成の特徴の一つは、前年の早い時期から編成作業に入り、積み上げ作業を重ねてから予算を決定することですが、作業開始が早いために議会が決算を認定する前に予算編成方針が決まってしまう、前の年に使われた予算の使い道についての議会の意見が、次の年の予算に反映されないおそれがありました。そこで市川市に対して決算審査の審議内容を翌年度の予算編成に反映させるように強く求め、財政部長もこれを約束しました。

## 市民活動の拠点づくりを！！

市川市には「1%支援制度」のように市民活動を積極的に支援するしくみがつくられていますが、このしくみが成熟していくためには、市民が活動する拠点をつくっていかねばなりません。私は質問の中で「そこに行けば、ボランティアどうしが情報交換でき、行政の情報や地域の情報もわかり、ボランティアが住民の困りごとを解決する手伝いをする、IT のにがてな高齢者にインターネットの情報を提供できるような、いわば住民活動の『交番』のような拠点を市内のあちこちにつくっていくことが必要だ」と主張しました。

## 市川市に法制部を設置せよ

地方分権の時代は、自治体が政策で競争する時代です。そこに求められるのは、国の法律に頼って条例をつくるのではなく、自治体自らが、自らの政策を条例にすることのできる高い立法能力です。いま、市川市の条例は、「法務課」というところで作られています。もっと組織を強化して法制部をつくり、政策ごとに担当課をおいて条例づくりを充実させるべきだと主張し、市川市も検討を約束しました。

## ハイタウン、市施設も改善が必要と質す

いまハイタウン塩浜では、団地が建設されてから20数年が経過し、団地の老朽化が進んできたことから、賃貸住宅を管理するUR都市機構、第一住宅管理組合、第二住宅管理組合がそれぞれ歩調を合わせて外構整備を行っています。また防犯灯を管理する自治会でもつけかえ工事を行うなど、団地をあげてリニューアルを進めています。その中で取り残されたのが、ハイタウン塩浜にある市川市の施設です。

**「団地の皆さんが協力して、きれいなハイタウンに生まれ変わろうとしているときに、市川市のみが傍観しているこ**

**とがあってはなりません」**これについて市川市の考えを聞きました。

ハイタウン塩浜内の塩浜中央公園・市道は、ハイタウン塩浜の建設に伴い、昭和61年に市が寄付を受けた施設です。当公共施設は、長い年月の経過により、公園の樹木が大きくなり、公園施設や道路施設も老朽化が進んでいます。そのような状況の中で、ハイタウンはリニューアルを進めていることから、「市の施設についても市民が安全で安心して利用できるよう改善が必要と考えております。今後、現地を調査しまして、どのように改善できるかを検討し、自治会の皆様とも相談した上で改善を図ってまいりたいと思います」というものでした。

これによって、近いうちに市川市と自治会などハイタウン塩浜地域の代表の方々との間で話し合いがもたれることになりました。地域の要望にこたえて団地内の市川市の施設も改善が図られることが期待されます。

## ハイタウン塩浜から市川塩浜駅へのバス路線の整備について再び問う！

京成トランジットバスが、市川塩浜駅から塩浜団地を經由して、南行徳付近を通り、浦安駅に至る新路線として計画しています。

現在国土交通省への認可申請の準備を行っており、年度内の開業を目指していると聞いております。ただし、当面は、他の路線とのバスのやりくりにより操業するため、多くの便数を確保することは難しい状況であり、具体的な運行計画についてはまだ確認できておりません。

市としては、今後も引き続き早期の開業及び便数の増加のため、側面から協力をしてまいりたいと考えております。

## 猫実川沿いの遊歩道整備(南行徳水辺の周回路)について

「南行徳水辺の周回路の内、塩浜海岸から塩浜橋までの延長約 1.6km については、総合 3 ヶ年事業の一つとして位置づけされ、平成 20 年度から 22 年度の 3 ヶ年で事業を終わる計画となっています。

その 3 ヶ年計画に基づいて、平成 19 年 9 月の議会で（荒木議員の質問に答え）塩浜第 2 公園から塩浜体育館まで延長約 730m を 20 年度、塩浜橋から猫実川 1 号水門区間 320m を 21 年度、さらに猫実川沿い市道 9393 号の 530m を 22 年度で計画していると発言しました。

今年度は、予定より事業規模が縮小していますが、今後、3 ヶ年の中で取り戻すよう努力してまいります。なお、塩浜橋から野鳥観察舎までの延長約 690m については、県に整備をお願いし、ほぼ完了しつつあります。」

## 「あんしん共済制度」が廃止に

市川市がこれまで実施していた「あんしん共済制度」を今年度末で廃止する条例が可決されました。この制度は年会費 1000 円を払った会員が交通災害や火災にあったときに見舞金を支給するというもので、(1)一人暮らし高齢者・生活保護者の会費は市が負担する(2)小学 1 年生・70 歳以上高齢者・障害者などには会員でなくとも市が見舞金を支給する、という福祉的な性格をもっていました。保険業法の改正によって、制度運営を委託していた損保会社が、今年から委託業務を拒否してきたことが、制度廃止の大きな理由です。正会員の場合、市川市の制度がなくなっても、県民共済や全労災など他の同じような共済制度に加入すれば問題はないのですが、問題なのは福祉的な性格の部分なくなってしまうということでした。私が委員長を務める総務委員会ではこの問題が取り上げられ、市川市に「これによって福祉は後退させない。新たな福祉政策で対応する」と福祉の切り捨てはしないことを約束させました。

## 市財政の健全化更に進むー19 年度決算

9 月議会に報告された 19 年度決算を見ると、自治体の財政力を表わす財政力指数が前年度比 0.02% 増の 1.12 に、財政に占める借入金返済の割合を示す公債費比率は前年度比 0.8% 減の 6.4 となり、市川市の財政は更に健全化されたことが明らかになりました。国と同様に借金財政に悩まされている自治体が多い中で、市川市には市民要求に的確に伝えていくだけの財政の力があるということです。無駄な経費を抑制しつつも、市民の皆様からの要望の強い、そしてまだまだ遅れている生活環境整備などに重点的に予算を配分するように求めていきたいと思えます。